

# 米飯学校給食の推進・定着

- 米飯学校給食は、次世代の米消費の主体となる子供たちに、「日本型食生活」を受け継いでもらうためにも重要。
- 米飯学校給食の普及・定着のため、食育授業等の実施支援や政府備蓄米の無償交付制度等を運用。

## 農林水産省の取組

### 和食給食の普及・推進

農林水産省は、米飯を含む和食給食を普及・推進することとし、和食献立開発やセミナー開催、食育授業の実施等を支援。

### 政府備蓄米の無償交付

米飯学校給食を増加させる場合に、回数の対前年度純増分を対象に政府備蓄米を無償交付。

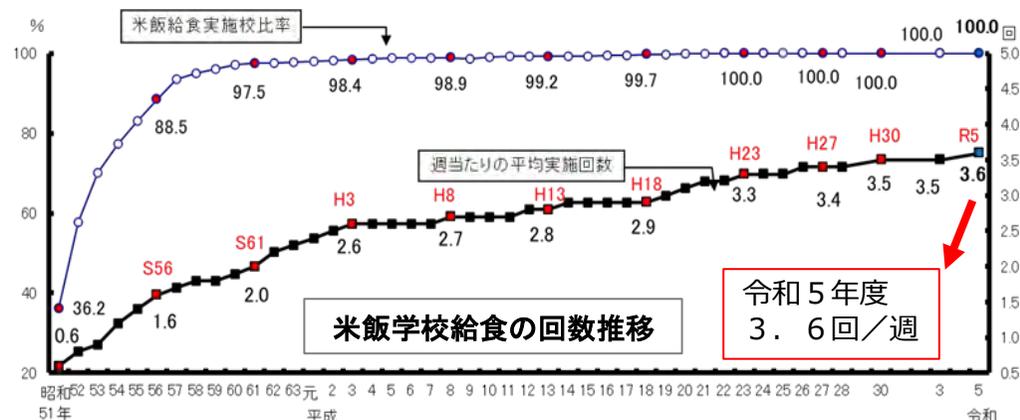


## 米飯給食の着実な実施に向けた取組

米飯給食の着実な実施に向けた取組  
(令和4年度食育白書令和5年6月6日公表) (抜粋)

米飯給食は、子供が伝統的な食生活の根幹である米飯に関する望ましい食習慣を身に付けることや、地域の食文化を通じて郷土への関心を深めることなどの教育的意義を持つものです。令和3(2021)年度には、完全給食を実施している学校の100%に当たる29,214校で米飯給食が実施されており、約922万人が米飯給食を食べています。また、週当たりの米飯給食の回数は3.5回となっています。

農林水産省では、次世代の米消費の主体となる子供たちに、米飯を中心とした「日本型食生活」を受け継いでもらうため、米飯給食のより一層の推進を図っています。令和4(2022)年度は、前年度に引き続き米飯給食の拡大に向けた取組への支援として、各学校が米飯給食の実施回数を増加させる場合に、政府備蓄米の無償交付を実施しました。



出典：米飯給食実施状況調査（文部科学省）

注：米粉パン・麺は含まない。

# 多面的な情報発信①（ホームページ、各種SNS及びYouTube）

- 平成30年10月から米の消費拡大の取組を応援すべく、「やっぱりごはんでしょ！」運動を開始。
- ホームページ、各種SNS及びYouTubeにより、米に関するイベントや季節食、産地情報などを定期的に発信。

## ホームページ



お米をもっと身近に感じていただけるような情報を発信



## 各種SNS（Instagram・Facebook・X）



ヴィレッジヴァンガード店員さんが考える「おにぎり」のアイデアのグランプリを開催、農林水産省内『消費者の部屋』で特別展示された様子をSNS発信

## YouTubeチャンネル「BUZZ MAFF（バズマフ）」「maffchannel（マフチャンネル）」

### 今年の猛暑とお米の食べ方について



買ったお米が「いつもより少し白いかな？」という時は、この動画をご覧ください。

今年の猛暑とお米の食べ方について 家庭内炊飯調整をお米マイスターが解説



米担当、おにぎりのポスターモデルできる説。パリ おにぎり



企業コラボ（ぐるなび総研社）



スティックおにぎり

## 多面的な情報発信②（政府広報や他の行政施策との連携）

- 内閣府政府広報室と連携して「米の消費拡大」に関する広報を実施。
- 朝食欠食改善や朝ごはん啓発のため、食品事業者等と連携し「めざましごはん」キャンペーンを実施。
- 食文化の保護・継承の取り組み、食育活動支援と連携して、主食としての米の魅力や大切さを発信。

### 政府広報と連携した情報発信



Smartnewsに  
バナー広告掲示

- テレビ「ミライの歩き方」 (R6年 2月)
- ラジオ「青木源太・足立梨花 Sunday Collection」 (R5年12月)
- Smartnewsバナー広告 (R5年10月)

### 「めざましごはん」による食習慣の情報発信



巖のり：(株)日本海フーズ

食品関連事業者が朝ごはん商品群の販促可能ツールとして「めざましごはん」ロゴマークを無償で使用許諾。「早寝早起き朝ごはん」運動(文科省等)とも連携して食習慣の情報発信。

### 「和食」の保護・継承における米の魅力発信

一般社団法人和食文化国民会議シンポジウム

## 和食と健康 2023初春

### 「お米」の魅力再発見

### 「お米」の恵みで健康に「賢い」食を考える

開催日時： 2023年2月20日(月) 13:00-15:35 (受付開始 12:30)  
会場： 富士ソフト アキバプラザ6階 セミナールーム1 (定員 60名)

### ごはん中心の「日本型食生活」の魅力発信

ごはんを中心とした  
「日本型食生活」のススメ

ごはんを中心に、魚・肉・牛乳・乳製品・野菜・海藻・豆類・果物・茶など多様な副食などを組み合わせ、栄養バランスに優れた食生活です。

「日本型食生活」の実践等を促進するため、セミナー開催等の地域実情に応じた食育関連の情報発信を支援。

※農林水産省「日本型食生活のススメ」  
「令和4年度食育白書」

から引用

# 多面的な情報発信③（展示会や刊行物における情報発信）

- 展示会展、省内「消費者の部屋」展示等により、消費者と直接交流しつつ米や米食の魅力を発信。
- 書籍や雑誌などの出版物を通じて、幅広く多様な消費者に米や米食の魅力を発信。
- 管理栄養士ネットワークを活用して、栄養指導やライフスタイルに有益な米の魅力を情報発信。

## 展示会展、「消費者の部屋」での展示、等



『日本の稲作を知ろう！』  
TVアニメ『天穂のサクナヒメ』コラボ  
展示  
2024年8/5～9 消費者の部屋



『GOOD LIFE フェア 2023』  
2023年9/1～3 東京ビッグ  
サイト

## 出版物等への部分執筆、データ提供等



2023年4/12発行  
日本食糧新聞社



2023年8/1発行  
商経アドバイス  
社



2023年9/25発行  
NHK出版社



2023年11月号  
「月刊コロムビア」  
東方通信社

## 管理栄養士ネットワークを活用した情報発信等



2024年7/6 健康食育シニアマスター・勉強会  
水田の多面的機能性等を含め、お米の魅力をセミナーで講演。  
多数の質疑を含め、大きな反響を頂いた。



2024年7/7  
『フォーラムシンポジウム』  
（日比谷文化図書館大ホール）  
食料自給率と食料安保の観点を含め、  
お米の魅力についてスピーチ講演

主催者である日本健康食育協会と  
日本ヘルスケア協会プラネタリー  
ヘルス・イニシアチブとの連携に  
より、管理栄養士等の健康指導を  
行う各地域のリーダー層に情報発  
信。